

熊本の百選の滝



四十三万の滝
菊池市



数鹿流ヶ滝、南阿蘇村



梅檀轟の滝
八代市泉町



鹿目の滝、人吉市

滝の定義

河川に出来た河床の段

何m以上なら滝という区別はない

年中水量がみられることが原則

時として溪流と滝の区別は困難で、慣習的な区別によるしかない

この発表は以下のHPを参考にしました。

宮崎の滝 <http://homepage3.nifty.com/miyataki/>

滝を観る 一千葉県の滝を例に一

<http://plaza28.mbn.or.jp/~takisekibututiba/tibataki/index.html>

滝の数

日本にある滝の数

2488 環境省 落差5m以上の滝

- この数より遥かに多数の滝が存在すると滝愛好家達は考えている

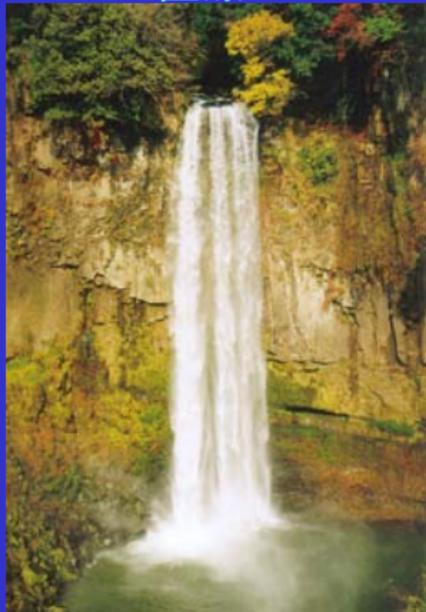
熊本県にある滝の数

144 HP「宮崎の滝」 地形図記載滝(92)
+個人的情報(52)

193 HP「日本の滝データベース」 各種文献の集計

滝の種類

直瀑



熊本県五老ヶ滝

段瀑



鹿児島県行者の滝

溪流瀑もしくは斜瀑



熊本県梅の木轟

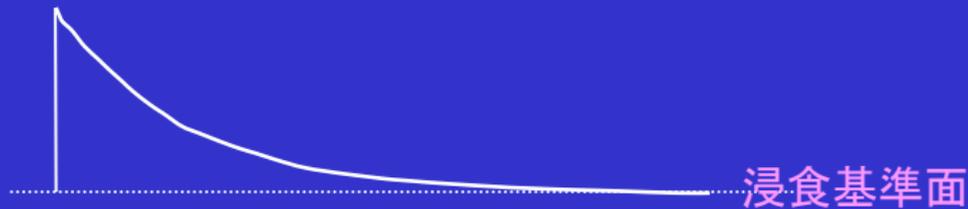
その他、滝の分類には分岐瀑、潜流瀑、線滝、面滝(横滝)等の言葉がある

遷急点の回春による滝の形成

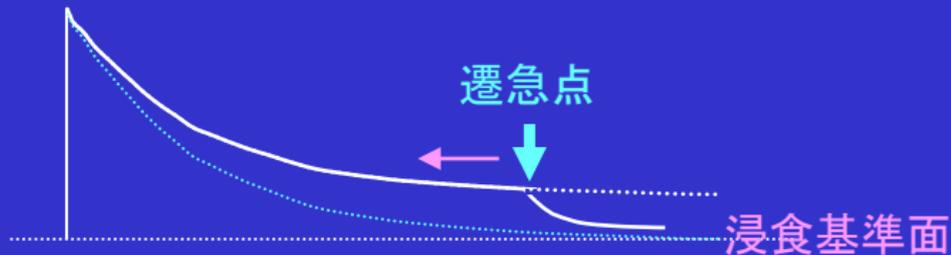
上流

下流

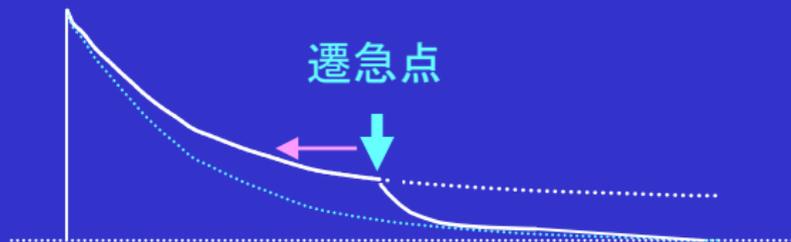
浸食と堆積が拮抗し平衡曲線の形成



隆起または海面低下で浸食基準面が低下し、遷急点の形成



遷急点が後退し、新しい平衡曲線へ



遷急点の回春による滝の形成(その2)

1. 遷急点の回春による滝の形成は地質の違い関わらず起きる
2. 連滝の形成

浸食は一様に起きるのでなく、多くの滝が分離、併合を繰り返すことがある



浸食基準面の変動を起こす因子

1. 造山活動に伴う河川の隆起
 - 本流型の滝・・・速やかに浸食される
 - 源流型の滝・・・水量少なく、長く存続する。山奥にある。
 - 懸谷型の滝・・・本流と支流の浸食力の差により、合流部付近に形成。
2. 火山噴出物の堆積(火砕流堆積物、溶岩)

懸谷型の滝



岩石の種類

1. 火成岩

	白っぽい	中間	黒っぽい
火山岩		安山岩	玄武岩
半深成岩	花崗班岩		
深成岩	花崗岩		

2. 堆積岩

砕屑岩・・・岩石や土などが侵食、破壊された屑が堆積し、固まったもの。粒子の大きさが小さい順に**泥岩**、**砂岩**、**れき岩**に分けられる。

凝灰岩・・・火山灰が固まってできたもの

石灰岩・・・プレート中に含まれていたさんご礁由来の岩石

チャート・・・大洋中でプランクトン(放散虫、珪藻など)が固まったもの。ガラス質ですごく硬い。